

研究課題名	急性移植片対宿主病におけるヒト同種骨髄由来間葉系幹細胞の有効性
研究期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
研究の対象	2017年4月～2027年3月の間、広島大学病院で造血幹細胞移植を施行し、ヒト同種骨髄由来間葉系幹細胞（商品名：テムセル）の治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：造血幹細胞移植後に起きる移植片対宿主病（以下GVHD）のうち、ステロイド抵抗性の急性GVHDに有用とされるヒト間葉系幹細胞による治療の有効性を明らかにし、今後の治療における継続投与や中止の判断材料を探索するものです。 研究の方法：対象期間中に造血幹細胞移植を実施された方の造血幹細胞移植状況などを調査し、その中でもテムセルを投与された方の疾患・治療・GVHDの症状など調査し解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、造血幹細胞移植情報、薬剤・テムセル投与歴
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 輸血部 准教授 藤井 輝久
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 広島大学病院 輸血部 担当者：小松 真由美 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5582